

## 北海道科学技術振興計画(検討素案)のフレーム

## I 基本的な考え方

策定趣旨 計画の性格 計画期間(平成30~34年度)

## II 「新北海道科学技術振興戦略」(平成25~29年度)における主な取組と今後の課題

## III 情勢の変化

- ◇ 大変革時代の到来(ICTの急激な進化など)
- ◇ 我が国・北海道が抱える課題の増大と複雑化(人口減少と高齢化の急速な進行など)
- ◇ 国の第5期科学技術基本計画(平成28~32年度)の策定

## IV 基本目標

科学技術の振興を通じて目指す北海道の姿

## 1 持続的な経済成長の実現

■北海道の強みや可能性を活かした取組により、新たな価値が連続して生み出され、成長する経済

## 2 安全・安心な生活基盤の創造

■誰もが安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉が充実し、将来にわたって住み続けられる社会

## 3 環境と調和した持続可能な社会の実現

■環境と経済活動やライフスタイルが調和した持続可能な社会

## 貢献・寄与

## V 北海道において進める主な研究開発分野

①経済の活性化を支える分野

②安全・安心な暮らしづくりに貢献する分野

③環境と調和した持続可能な社会の実現に貢献する分野

④北海道の未来を拓く分野

## VI 重点化プロジェクト(仮称)

科学技術が本道の独自性や優位性を発揮して、目標とする将来像の実現に貢献できるよう、特に推進する研究開発や取組を重点化プロジェクトとして設定

- (例) ◆食・健康・医療プロジェクト ◆先進的ものづくり事業化プロジェクト ◆環境・エネルギープロジェクト
- ◆AI/IT等利活用プロジェクト

推進に当たっての基盤的な力

科学技術人材の育成

本格的な産学連携の推進

地域におけるイノベーションの創出

## VII 基本的な施策

- 1 研究開発の充実及び研究成果の移転等の促進
- 2 道における研究開発等の推進
- 3 産学官金等の協働の推進

4 知的財産の創造、保護・活用

5 科学技術を支える人材の育成確保・科学技術コミュニケーション活動の促進

## VIII 北海道内6地域における取組

産学官金の連携が進められている道内6地域における「主な関係機関の連携の姿」と「取組の基本的な推進方向を示す。

## IX 計画の推進

計画の取組状況などを毎年度把握し、点検・評価を行うとともに、推進状況について公表